



第55回 宮崎県保育事業研究大会報告

大会経過要旨

平成20年1月22日（火）、宮崎観光ホテルにおいて400名を越す県内保育関係者の参加により開催されました。

式典ではご来賓の方々より力強いご声援を頂き、また日高美恵子氏による記念講演では今後の保育の支えになるべき暖かいご指導を頂くことができました。

午後からの分科会では、それぞれのテーマに沿った研究・事例発表の後、参加者を交えた熱心な意見の交換が行われ、盛会のうちに本大会を終了しました。

式典、記念講演



分科会

第一分科会・・・一人ひとりの発達をふまえた保育実践・参加者83名



★助言・指導：北九州市立総合療育センター訓練科 言語聴覚士
★保育の特性（養護と教育）をもって、子育て支援のあり方について討議がなされた。

第二分科会・・・気になる子どもの保育の充実・参加者88名



- ★助言・指導：サポートセンターおおぞら・コーディネーター
- ★気になる子どもだけでの支援ではなく、保護者に対しての支援も重要である。

第三分科会・・・職場内研修の充実による職員の資質向上・参加者61名



保育の質を高める自己評価の活かし方

- ★助言・指導：あおぞら保育園 園長
- ★参加者は、職員の資質向上に強い関心があり、熱心に聞き入った。
- 後半、助言者の講義により、どのような研修内容で実践したら良いかなど、意識を深めた。

第四分科会・・・子育て支援の拠点としての保育所の機能を考える・参加者31名



- ★助言・指導：宮崎女子短期大学 保育科 教授
- ★発表者は、実践を踏まえた具体的な内容であった。
- 会場からも子育て支援の事例がでて、様々なケースを捉えることができた

第五分科会・・・児童虐待防止への取り組み・参加者25名



- ★助言・指導：中央児童相談所 虐待対応 主幹
- ★延岡・都城地区における実例を第5分科会参加自園にまで公開可という約束のもと、各地区におけるネットワークの現状を中心に報告をもらった。

第六分科会・・・子育て文化につながる食育への取り組み・参加者77名



- ★助言・指導：都城市 こども課 栄養士
- ★食育ブームに踊らされるのではなく、保育園がこれまで培ってきた食の文化を再認識し、さらに研鑽を積み、園から家庭に・地域に発信していく食育の取り組みについて、検討を重ねました。

第七分科会・・・公立保育所の使命と地域社会での役割・参加者40名



★助言・指導：宮崎県児童家庭課 保育指導担当 主幹

★保育園と保護者・地域・行政が一体となって子育て支援に取り組んでいる現状や保護者とのコミュニケーションをより良く図る為の調査・研究・発表が行われた。

[ホーム](#) >> [研修案内・保育ニュース](#) >> [大会報告](#) >> 第55回 宮崎県保育事業研究大会報



〒880-0007

宮崎県宮崎市原町2-22 宮崎県福祉総合センター内

一般社団法人 宮崎県保育連盟連合会 事務局

TEL : 0985-28-5835 FAX : 0985-28-5989

Copyright (C) M-Hoiku 2007 All rights reserved. Since 2007/01/01